2015 年度資料

2016.5.22

学校法人　三育学院

（学校名）　三育学院大学・短期大学・カレッジ

（年　度）　2015 年度

事　業　報　告　書

2015 年度の方針「すべては学生のために」をかかげ、学生たちの日々のキャンパスライフを全人的にサポートすることによって本学の SDA の高等教育機関として宣教と奉仕を担う人材育成という私たちの使命をより良く果たすため教育活動を展開した。

看護学部看護学科

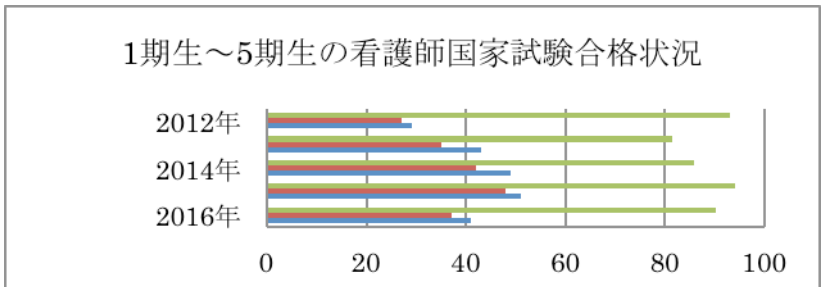
2015 年度、看護学部の入学者は定員を割り 43 名であった。看護の希望者は多いという時代は既に去り、入学者の確保が厳しい危機的な状況である。学生を確保し、使命をはたすために、2016 年度以降に向けて学内のみならず学外からも意見を聞き、様々な方面から検討がなされた。その結果、東京にさらに 1 学年移動し、計 2 年間を東京で学修する案が検討され、東京衛生病院、そして教団の協力を受け、その準備が進んでいる。

東京 2 年プロジェクト

教団理事会、法人理事会、高等教育専門委員会また教授会、運営委員会で討議し教育の質の向上、また学生の確保の観点から東京にさらに 1 学年を移し、大多喜 2 年、東京 2 年のプログラムに移行するプロジェクトがスタートした。

国家試験の合格率

2015 年度（2016 年 2 月受験）の国家試験合格率は、看護師 90.2%、保健師 100%であり看護師国家試験はさらなる合格率の向上を目指し、次年度（2016 年度）に向けて、新たな取り組みを検討している。



	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年
合格率（%）	90.2	94.1	85.7	81.4	93
合格者数（人）	37	48	42	35	27
受験者数（人）	41	51	49	43	29

カレッジおよび英語コミュニケーション学科

三育学院カレッジ神学科は、2015 年度から新課程がスタートした。広島三育学院、そして教団教区また教会の応援により新課程には、以下の設置する学科名　募集定員、入学者および在籍者数の状況　（2015 年 5 月 1 日）にあるように、例年に比して多くの学生が入学をした。

キリスト教教育学科は、在籍者が卒業後閉科を予定し、2015 年度からは、神学科に統合され、キリスト教教育専攻の 1 年過程として、既に教員として採用されている若手教員を対象とした研修課程として発足している。

このように、日本伝道を牧師としてあるいは機関の働き人として支える多くの人材が確保されたことは大変喜ばしいことである。御協力下さった多くの方々に感謝をしたい。

一方、英語コミュニケーション学科はすでに募集を停止しており、3 月に在学生 2 名が卒業して歴史を閉じることになった。

地域貢献としての大多喜町英語教育支援

大多喜町の要請により、保育所、小学校、中学校に英語教員を派遣し、町の教育の充実に貢献している。町も広報などで取り上げ、町の地域創生のプランにも組み込まれている。

モットーおよびミッションステートメント

モットー　To Make People Whole

ミッションステートメント（三育学院が社会に果たす使命）

本学は、プロテスタント・キリスト教の精神，とりわけその潮流のもとにあるセブンスデー・アドベンチスト教団の理念と実践に基づく教育共同体である。そのめざすところは、聖書に示されている本来的人間すなわち霊性（spiritus）、知性（mens）、身体（corpus）の統合体としての人間の全体的な回復である。本学の使命は、この目的のもと、神をすべての価値の根源として真理を探究し、自己と他者の尊厳を重んじ、より良い社会の形成をめざして、それに貢献し得る人物を育成することである。

１．　設置する学科名　募集定員、入学者および在籍者数の状況　（2015 年 5 月 1 日）

	定員	2011	2012	2013	2014	2015	2015在籍者	収容定員
看護学科	50*	62	45	51	53	43	197	220*
英コミ学科	20	9	12	7	1	－	3	20
神学科（旧）**	11**	2	2	3	2	－	2	30
神学科（新）	21***	－	－	－	－	10☆	10	50
教育学科**	20****	1	5	0	1	－	2	30
合　計	101	74	64	61	57	53	229****	320

*看護学科 2015 年度の収容定員は編入枠を含め 220 名であるが、編入枠を廃止し 2016 年度より 200 名となる。

**神学科（旧）の定員は、神学専攻(3 年コース)が 8 名、キリスト教学専攻(2 年コース)が 3 名であり収容定員は、30 名である。キリスト教教育学科は、2 年コースが 10 名、1 年コースが 10 名であり合計した定員は 30 名であり、カレッジ全体の収容定員は、60 名である。

***神学科（新）の定員は、神学専攻（4 年コース）8 名、キリスト教学専攻（2 年コース）5 名、キリスト教教育専攻（1 年コース）8 名、収容定員は、50 名である。

****2014 年度の在籍者数は、229 名であった。

☆神学専攻 7 名、キリスト教学専攻 1 名、キリスト教教育専攻 2 名

２．卒業生の進路状況

（１）看護学部看護学科卒業生（41 名）

就職　三病院　　21名

県内　　2名

県外　　17名

進学　　0名

その他　　1名

合計　　41名

（２）短期大学　英語コミュニケーション学科卒業（3 名 前期卒業生を含む）

カレッジ編入　　１名

就職　　１名

合計　　２名

（３）カレッジ　神学科（2 名）

就　職　　２名　（牧師インターン２名）

（４）カレッジ　キリスト教教育学科（1 名）

就　職　　１名

３．2015 年度　教職員体制ならびに教職員数

学長：東出克己　副学長：渡辺清美　法人事務局長：黒須潤、

大学・短期大学・カレッジ事務局長　山口伊作

看護学部学部長：J. ニック、学科長：後藤佳子

英語コミュニケーション学科学科長：渡辺清美

神学科学科長：ハ・ホンパル

キリスト教教育学科学科長：森　祐二

教職員数

専任教員：39（大 28、短 4、カ 7）

職　　員：20（大 16、短 3、カ 1）

退職

長年ご奉仕下さった教職員が退職された。そのご貢献に感謝したい。

渡辺　清美	副学長・短期大学学科長	2016 年 3 月 31 日付
ジャン・ニック	看護学部学部長	2016 年 3 月 31 日付
ソ・ウェスク	看護学部　教授	2015 年 9 月 30 日付
岩崎　裕子	看護学部　教授	2016 年 3 月 31 日付
鈴木　啓子	看護学部　教授	2016 年 3 月 31 日付
鶴岡　章子*	看護学部　教授	2016 年 3 月 31 日付
関本　真奈美	看護学部　助手	2016 年 3 月 31 日付
處　千恵美	看護学部　助教	2015 年 7 月 31 日付
ハ・ホンパル	神学科学科長・教授	2015 年 9 月 30 日付
池増　信幸	庶務課長	2016 年 3 月 31 日付
松村　宏一	事務	2016 年 4 月 30 日付

*2016 年度は特任教授

４．2015 年度　主な教育、研究への取組

１）学修センター

2014年度より図書館と図書館に接続している教室を使い学修センターがスタートした。月曜日と水曜日の夜に１年生を集め、学修時間の確保、GPAなど大学での学修について説明すると共に、先輩たちが大学での学修経験から新入生を励ますメッセージ、勉強のコツなどを話している。2015年度からは、教職免許を有するカレッジ神学科キリスト教教育専攻の研修生2名がスタッフとして加わった。

学修センターでは、グループ学習、個人学習など希望するスタイルで学修ができるようにスタッフが環境を整え、学生をサポートしている。学修習慣を身につけ、学修時間を確保し、教育の質を確保することが学修センターのねらいであり、2015年度からはタイムマネジメントのトレーニングをプログラムに取り入れた。

学修センターは、学生が大学での学修について理解を深め、基礎学力の向上につなげる取り組みである。また、夜間1年生全員が学修センターの活動に参加出来るのは、学寮という教育体制の利点を活かしたものである。

中央教育審議会は、大学教育の質を向上させるため「学生の主体的な学びを確立し、学士課程教育の質を飛躍的に充実させる諸方策の始点として、学生の十分な質を伴った主体的な学修時間の実質的増加・確保が必要であると考えた」と答申している（平成24年8月28日）。学修センターは、これに対応した教育の質向上の取り組みである。[1]

２）全人的教育への取り組み

本学の教育は、知性、身体性、霊性の最大限の発達と共に、円満な人間形成を実現することを建学の精神としている。大学は、知の拠点としての役割を果たすために、教育、研究に取り組むことは当然である。同時に本学の使命・目的である円満な人間形成を通して、全人的看護の実践者となるための特色ある取組が、キリスト教教育、学寮教育、労作教育、そして健康教育である。全人的教育は、本学在学期間中で完了するものではなく、卒業後も持続的に一人一人の人生を豊かにするものであり、同時にその奉仕の精神を通して社会に貢献できるものであると考え、卒後も持続可能な全人的教育に取り組んでいる。

---

[1] 大学設置基準では、1単位45時間の学修時間が求められており、2単位の授業では90時間である。授業でカバーされるのは、15コマ×2時間と計算して30時間である。残る60時間は、予習、復習によって満たさなければならない。大学設置基準で想定されている一般的な学期中の 1日当たり総学修時間の算定は、卒業要件=124単位、1単位=45時間=(授業 1時間+関連する学修2時間）×15週である。1 学期で　修得すべ　き単位=124単位÷4年間÷2 学期≒16単位、1 学期の学修時間＝16単位×45時間＝720時間、1 週間の学修時間＝720時間÷15週＝48時間である。 1日の学修時間 は、予習、復習を含めて(1週間を6日間で　計算）48時間÷6日＝8時間である。中教審「新たな未来を築く」p. 12.

３）キリスト教教育

（１）活動および行事全般

活動・行事	2011	2012	2013	2014	2015	合計
バプテスマ	0	4	2	2	6	14
宗教週間	3	3	3	3	3	15
小グループ	5	5	6	6	6	28
特別礼拝	8	8	8	8	8	40
青年礼拝	4	4	12	6	2	28
聖歌隊・ハンドベル活動	8	14	14	14	13	63
リーダーシップ講習会	3	3	3	3	3	15
ボランティア活動	12	3 チーム /28 回	3 チーム /27 回	3 チーム /28 回	3 チーム /32 回	117
ATI/参加者数	1/32	1/16	1/10	1/11	1/12	5/81

（２）バプテスマ数６名（学生５名、職員１名）

（３）春期バイブルウィーク 5 月 18 日（月）～23 日（土）一北睦夫牧師
秋期バイブルウィーク 10 月 12 日（月）～17 日（土）マークデュワート牧師、
ハ・ホンパル教授
学生バイブルウィーク　2013 年 2 月 25 日（木）～27 日（土）
秋期バイブルウィークは、テーマ、講師選択など企画をすべて神学科学生が担当し、デュワート先生、ハ先生に「三天使の使命」について語っていただいた。また、バイブルウィーク期間中、神学科学生が学生と面談し、フォローアップを行なった。

（４）ボランティア活動

これまで多くの方々の支援を受けたことに感謝し、ＡＴＩ（アジアと共に生きる会）が 30 周年記念礼拝を、10 月 22 日（木）に創設者の廣田牧師とタイよりランシット牧師をお招きして行なった。また、11 月 1 日（日）に行なわれた三育祭においても、長年ご支援をいただいているソロプチミスト千葉の役員の皆様をお招きし、ATI の 30 年の活動報告を行った。

４）教員の育成

2015 年度に学位取得のため大学院に在籍した教員は、博士課程 5 名、修士課程 3 名の計 8 名である。三育教育において人材育成は急務であり、継続的に取り組んでいる。